

ご自由にお持ち下さい  
TAKE FREE

# 雪華

～ゆきはな～

2014.May Vol. 10



ぼくたち わたしたち  
日赤救護班！



日本赤十字社 古河赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

〒306-0014 茨城県古河市下山町1150番地  
TEL 0280-23-7111(代) <http://www.koga.jrc.or.jp/>

ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.koga.jrc.or.jp/>

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



## 速報!

# 今秋、心臓・血管疾患治療のエキスパート (循環器内科)医師来たる!

当古河赤十字病院におきましては、災害時の救護活動など緊急事態に対応すべく常時準備していると同時に、地域における皆様の健康・医療に対処すべく、地域医療（急性期医療）にも力をいれております。

今回、心筋梗塞や狭心症など心疾患治療を目的に、自治医科大学循環器内科で心臓カテーテルの長として活躍しております勝木孝明准教授を、今秋より常勤として当院に赴任することが決定いたしました。勝木先生は心臓カテーテル治療の第一人者であります。

この赴任に併せ「最新鋭の血管撮影装置」を新設することも決まりましたので皆様にお知らせいたします。

今までは急性期の心疾患に対して、患者状態により自治医科大学などへ転送しておりましたが、専門医師の招聘により心筋梗塞などの急性期治療も当病院で治療できることとなり、皆様の健康に少しでもお役立てできるようになると思います。

このあとに「頭頸部血管障害などの脳卒中」に



心疾患治療の専門医師着任  
について語る

篠田院長

つきましても対応する予定ですので、今しばらくお時間をいただければと思います。

これからも、近隣地域の各医療機関と協力・連携し、診療・加療する予定でございますので、ご期待いただければと思います。

(院長 篠田宗次)

## 赤十字キッズタウン開催

### ～多くの子ども達が来場～

3月9日（日）水戸のイオンモール内原にて赤十字キッズタウンが開催されました。

このイベントは県民のみなさまに、赤十字の理念や活動を知っていただくことを目的に、子ども達が赤十字職員に扮して、医師や看護師の仕事等を体験し、親子一緒に遊びながら学べるものです。当日は大勢の子ども達が参加しました。



当院は水戸赤十字病院と共同で、白衣を着てもらい医師体験（問診、聴診器を使用等）と看護師体験（血圧、包帯での手当等）をしていただきました。

子ども達には、楽しみながら、赤十字を知ってもらう事ができました。



# Dr.ヤマダの診療所

## ～認知症センター長だより～最終回

認知症の話の最終回は、治療と予防についてお話しします。

### ○治療について

今のところ、認知症を「治す」くすりや「進行を止める」くすりはまだありません。進行を「にぶらせる・遅らせる」くすりのみを使うことができます。内服薬（のむくすり）、貼付薬（貼るくすり）があり、その人に合ったものを選んで処方します。くすりを使うと数か月～1、2年は、ある程度よい状態を保てることが多いです。

また「周辺症状」といって、落ち着きがなく、暴言や徘徊などがとくにつよく出ている場合は、精神疾患につかう気分をすずめる薬を内服して頂くこともあります。

しかしこれらのくすりによる治療（薬物治療）は、治療の主役ではありません。介護やリハビリテーションなどの「非薬物療法」が、じつはもっと大切なのです。ここでは患者さんの家族の方に知っておいて頂きたいポイントを述べます。

1. 介護はかんペきをめざさない
2. 利用できる社会資源をできるだけ利用する

認知症の人の介護は長くつづき、介護する人の負担はひじょうに大きいはずで、完璧な介護をめざすと、自分が疲れてしまいます。介護するご家族は、まずは自分の健康に気を配って下さい。そして自分だけで介護を背負いこまないよう、介護保険などで使えるサービスはぜひ使うようにして下さい。

### ○予防について

認知症は年をとるにつれて、だれでもかかり易くなります。長生きをした場合は仕方ないとも言え、確実な予防法はありません。しかし次のことに気を付けると、その危険性は少なくなるといわれています。

#### 1・生活習慣病の治療

高血圧、糖尿病、悪玉コレステロールが多い人はきちんと治療を。

#### 2・心身ともに、健康的なライフスタイルを心がける

いわゆる有酸素運動（ウォーキング、ジョギング、エアロビクスなど）、食生活に気をくばる



（長嶺敬彦著 「みんなで考える認知症」  
（中外医学社より引用）

（魚や野菜、果物を多めに、コーヒー、緑茶）、禁煙と節酒、人との交流、社会参加や趣味をもつなど。

要は、①持病がある人はまずその治療を、②食生活、お酒やたばこに気を付けて、③あたまと体をよく使いましょう。ということになると思います。

### ○おわりに

医療レールの比喩というのがあります。医療というレールの上を走る電車の、患者さんが乗客、介護するご家族が車掌さん、そしてわれわれ医療者が運転士だということです。運転士は前はよく見えるが後ろは見えません。これから患者さんが辿る道は見えても、これまで歩んできた道、ご家族の苦労はあまり見えません。車掌さんのご家族は、これまで通ってきた介護の苦労というレールだけが見える。そして乗客の患者さん本人は、前の景色も後ろのレールも見えず、ただいま通過しているところの景色だけを見えています。

私たち医療者は、患者さん一人ひとりのレールが少しでも大変な道にならないよう、また乗客と車掌さんのようすに気を配りながら、運転していなくてはと思っています。

ここまで読んで下さり、どうもありがとうございました。皆さんの中には、これから【もの忘れ外来】でお目にかかることがある方もいらっしゃると思います。その時は、分かりにくいこと、不十分なことなどがありましたら、私たち医療者＝運転士にどんどんお聞きになってください。よろしくお願い致します。

# 健診センター



前列左より 遠乗医師、津田医師、柏井医師  
後列は健診センタースタッフ

日頃から当院健診センターをご利用いただきましてありがとうございます。

現在、当センターでは健診担当医師3名、看護師1名、管理栄養士1名、事務スタッフ7名と内視鏡医師、検査技師、レントゲン技師との連携により、安全かつ迅速で精度の高い健診を目指し、心を込めて対応させて頂いております。

## なぜ健診が必要？

健康を保つには、病気の予防・早期発見・早期治療が必要であると言われています。年に1度の健康診断は、健康な毎日のための身体状態を把握することになり、生活習慣病の予防にもつながります。

## 健診ってどんなことをするの？

当センターでは人間ドックをはじめ、脳ドック、定期健康診断、特殊健診など幅広く対応しています。

また、胃内視鏡検査では経鼻内視鏡（鼻から入れる内視鏡）も行っていますので、口からカメラを入れるのが苦手な方でも、体への負担が少なく検査を受けられます。

血液検査では、ピロリ菌の検査や前立腺がんの検査、頭部MRI・MRA、胸部CTなどをオプションで選んでいただけるようになっています。

ぜひ積極的に健康診断を受けていただき、より多くの方の健康を守るお手伝いをさせていただきたいと考えております。

今後も皆さまのより一層のご愛顧をよろしくお願いいたします。



## 新任医師紹介

今年4月から着任した医師5名をご紹介します。  
どうぞよろしくお願いいたします。



第一外科部長

くろこうち あきら  
**黒河内 顕** 医師

専門分野・・・消化器・一般外科

出身・・・長野県

患者さんにメッセージ

微力ながら、この地域の医療に貢献できるよう頑張ります。

宜しくお願いします。



第二外科部長

いしぐろ やすなお  
**石黒 保直** 医師

専門分野・・・消化器・一般外科

出身・・・岩手県

患者さんにメッセージ

「じえじえじえ」とは言いませんが、岩手で学んできたことをこの地で活かしたいと思います。

お気軽にご相談ください。



外科

かなまる りひと  
**金丸 理人** 医師

専門分野・・・消化器・一般外科

出身・・・栃木県 佐野市

患者さんにメッセージ

自治医科大学から派遣になりました。  
明るく元気にがんばりたいと思います。

よろしくお願いします。



内分泌糖尿病科

おざき かずふみ  
**尾崎 一史** 医師

専門分野・・・糖尿病

出身・・・栃木県

患者さんにメッセージ

いっしょにがんばりましょう！



小児科

いしい ともゆき  
**石井 朋之** 医師

専門分野・・・一般小児科・小児神経

出身・・・島根県

患者さんにメッセージ

地域の子供たちが元気に過ごせるよう援助できればと考えています。



## 紹介・逆紹介を推進しています

■紹介状を持参した場合、選定療養費2,500円（平成26年4月1日時点）の請求はありません。

### ～安心できる地域医療連携～



古河赤十字病院は  
「かかりつけ医」と連携・協力して  
皆様の健康をお守りします。

古河赤十字病院では第2次救急医療機関、災害拠点病院等の指定を受け、急性期医療を中心とし、連携機能を果たすべき役割が**国の方針**でも求められています。

専門性の高い医療などを必要とする患者様を、お一人でも多く治療させていただくために、当院受診をご希望の方は、診療所（かかりつけ医）に相談され、紹介状をお持ちになって受診して頂きますようお願い致します。

また、症状が安定されている患者様には連携機能を果たすため、紹介元の診療所やご自宅の最寄りの診療所（かかりつけ医）等に紹介させて頂くことになります。

#### 夜間小児科救急診療当番日

平成26年6月当番日  
6月6日・6月13日・6月20日・6月27日  
診療時間：18:00～23:00

お薬手帳をお持ちの方はご持参下さい  
＝詳細＝

当院、又は古河市ホームページをご覧ください。  
（上記当番日以外は別な医療機関を受診ください。）

#### 看護助手募集

#### 看護助手を募集しております。

業務内容等、詳細につきましては、下記まで  
お気軽にお問い合わせ下さい。

古河赤十字病院 人事担当

電話 0280-23-7111

平日 8:30～16:30